

# 公益財団法人日本精神衛生会

## 令和6年度 事業報告書

### 事業の概要

令和6年度は、次の事業を実施した。

#### 1. フォーラム「メンタルヘルスの集い(第39回日本精神保健会議)」の開催

令和7年は、第二次世界大戦終結後80年の節目に当たることから、フォーラムのテーマを「戦後80年とメンタルヘルス～私たちと社会を振り返り、これからのを考える～」として、会場をこれまでの東京有楽町の朝日ホールから、御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターに変更して、メンタルヘルスの集いでは初めての、対面とZoomウェビナーを使用してオンラインで配信する、ハイブリッド形式で開催した。

第二次世界大戦は30カ国以上が関与し、最大の死傷者を出した史上最悪の戦争であり、日本は枢軸国として参戦した。これまでの研究では、世界の様々な国や地域で、第二次世界大戦が社会全体に長期的な影響を及ぼしていることが明らかになっている。わが国でもその長期的な影響について学際的な共同研究が始まり、その成果が共有されてきている。

今回のメンタルヘルスの集いではその成果を踏まえ、特別講演とシンポジウムを通じて、第二次世界大戦が今なお、国内外に広く影響を及ぼしていることを理解し、戦後80年の私たちの社会とメンタルヘルスについて議論した。

本フォーラムは竹島正理事が準備委員長となり、上別府圭子、藤井克徳の両理事に、外部から栗津賢太(上智大学グリーンケア研究所)、中村江里(上智大学)、森茂起(甲南大学)の3氏が準備委員として参加し企画した。

なお、本フォーラムは「令和6年度健康や命を守る医療に関する普及啓発活動」として、公益財団法人JKAより競輪公益資金の補助を受けて実施した。

#### メンタルヘルスの集い(第39回日本精神保健会議)

日時：令和7年3月8日(土) 10:30～16:00

テーマ：戦後80年とメンタルヘルス

～私たちと社会を振り返り、これからのを考える～

内容：特別講演「『加害責任』の世代間伝播

～植民地『満州』と祖父と私～

胡桃澤 伸(精神科医、劇作家)

## シンポジウム「戦後80年とメンタルヘルス

～私たちと社会を振り返り、これからを考える～

「歴史学の立場から」

中村 江里（上智大学文学部史学科准教授）

「社会学の立場から」

栗津 賢太（上智大学グリーンケア研究所客員研究員）

「心理学の立場から」

森 茂起（甲南大学人間科学研究所客員研究員）

指定発言

胡桃澤 伸（精神科医、劇作家）

藤井 克徳（日本障害者協議会代表）

上別府圭子（国際医療福祉大学大学院教授）

コーディネーター

竹島 正（川崎市総合リハビリテーション推進センター所長）

参加者：会場 96名 オンライン 194名

なお、このフォーラムの内容は本会の広報誌「心と社会」200号（令和7年6月発行）に収録する。

## 2. 精神保健シンポジウムの開催

全国の主要都市において、その地域の大学や精神保健福祉関連団体等との共催で、地域が直面する精神保健に関する課題等をテーマにシンポジウムを開催しており、今年度は下記のとおり実施した。

### ● 80回精神保健シンポジウム（秋葉原）

日時：令和8年8月10日（土）13：30～16：50

会場：AP 秋葉原

共催：一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会

開催形式：会場とオンラインのハイブリッド開催

テーマ：地域に潜むメンタルヘルスニーズに応えるために  
～医療現場の実践から～

内容：講演とシンポジウム

講演1 石川県における精神保健医療福祉の現状と課題  
～能登半島地震から見たこと～

北村 立（石川県立こころの病院）

講演2 地域における医師アウトリーチと障害分野における支援困難事例への対応経験

川越正平（医療法人財団千葉健愛会あおぞら診療所）

講演3 「にも包括」時代における精神科病院の生存戦略

木村勝智（医療法人愛精会あいせい紀年病院）

講演 4 ジェネラリスト育成のための精神医学教育

須田史朗（自治医科大学医学部精神医学講座）

指定発言 1 石井美緒（川崎市総合リハビリテーション推進センター）

指定発言 2 長島美奈（公益社団法人生駒会松戸診療所）

座 長 1 竹島 正（川崎市総合リハビリテーション推進センター所長）

座 長 2 河野稔明（川崎市総合リハビリテーション推進センター）

参加者 会場 18名 オンライン 103名

なお、このシンポジウムの内容は本会の広報誌「心と社会」198号（令和6年12月15日発行）に収録した。

3. 広報誌「心と社会」の発行

今日の精神保健福祉が直面する重要課題を取り上げるとともに、国内や海外の精神保健福祉に関する最新情報を掲載した広報誌「心と社会」を次のとおり発行した。

- ① 196号（令和6年6月15日発行） A5判152頁 1200部  
特集 第38回メンタルヘルスの集い  
メディアとメンタルヘルス～伝える、受け取る～
- ② 197号（令和6年9月15日発行） A5判128頁 1200部  
特集 メンタルヘルス領域におけるオンライン診療・相談・支援
- ③ 198号（令和6年12月15日発行） A5判128頁 1200部  
特集 第80回精神保健シンポジウム（秋葉原）  
地域に潜むメンタルヘルスニーズに応えるために  
～医療現場の実践から～
- ④ 199号（令和7年3月15日発行） A5判122頁 1200部  
特集 ACTION-J研究成果発表から10年

4. 精神保健福祉関係冊子の出版

一昨年度より林直樹理事が編集委員長となり、外部から小泉典章（長野大学名誉教授）、堀有伸（ほりメンタルクリニック）、宮地尚子（一橋大学）を編集委員に迎え、こころの健康シリーズⅨとして刊行を開始した「現代の災害とメンタルヘルス」のNo.9～No.12（各B5判8頁）を以下のように発行した。発行後はホームページに掲載し閲覧できるようにした。

No.9 災害派遣精神医療チーム(DPAT)について

三重県こころの健康センター 楠本みちる 著

令和6年6月発行 2000部

- No. 1 0 災害後の子どものメンタルヘルスについて  
東北医科薬科大学精神科学教室 福地 成 著  
令和6年9月発行 2000部
- No. 1 1 向き合えない人々と心のケア～13年後に語れること～  
相馬こころのケアセンターなごみ 米倉一磨 著  
令和6年12月発行 2000部
- No. 1 2 ポストコロナ社会のメンタルヘルス  
筑波大学医学医療系臨床医学地域精神医学 太刀川弘和 著  
令和7年3月発行 2000部

#### 5. メールマガジンの発行

当会の活動や関連イベント、精神保健に関わる内外の動向などを発信するメールマガジン「日本精神衛生会こころのメルマガ」を林直樹理事が作成し、メールマガジン登録者へ配信した。

第7号	(令和6年 5月 1日発行)	配信数491
第8号	(令和6年 7月10日発行)	配信数506
第9号	(令和6年10月 4日発行)	配信数527
第10号	(令和7年 1月 8日発行)	配信数550

6. 公益社団法人日本精神保健福祉連盟の一員として、国内の精神保健福祉諸団体と精神保健福祉の推進に協力した。また、広報誌「心と社会」の海外ニュース欄にて世界の精神保健関連情報を紹介した。